



地域に支えられて、10周年

新小山市民病院

だより 

No.39
2022年12月1日号*



目次

病院長挨拶	P.1	決算報告	P.2
かかりつけ医	P.3	お知らせ	P.4

TOPICS ★ 2023年度初期研修医決定!! ★

当院では、今年度より初期臨床研修医を採用しております。初期臨床研修医というのは、医学部を卒業後、国家試験に合格し医師免許を取得したのち、厚生労働省が認可した臨床研修病院で最初の2年間、研修を行う医師のことです。研修を希望する卒業前の医学生に対し、各臨床研修病院が採用試験を行ったうえで、それぞれがマッチング協議会というところに登録し、医学生と病院双方の登録（希望）が合致（マッチ）した場合に、初めて希望した病院で採用される（研修を受けられる）という仕組みです。

当院は、栃木県から2名の初期臨床研修医採用枠の指定を受けており、今年度も事前の見学等を積極的に進めたことで、多くの医学生から応募をいただきました。結果、当院で研修を希望する2名の医学生を確定（フルマッチ）することができ、来年度からは初期臨床研修医として勤務となります。来院される患者様におかれましては、診療の際にご協力いただく場面もあるかと思いますが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。



“振り返れば節目の1年”

2021年度の地方独立行政法人新小山市民病院の業務実績に対して、市が設立した評価委員会の議を経て市長評価が行われました。いずれの項目も、「計画通り」か「計画を上回る」との判定で、「コロナ禍で日々危機感と隣り合わせの中においても、全職員がワンチームで、通常診療とコロナ診療の両立という公的病院の責務に取り組んでいる」と総評されました。そして、「市民・近隣地域にとってかけがえのない地域の拠点病院として、経営の安定化に努めながら、今後もより一層、質の高い医療を提供するように」と期待されました。

実際、2021年度の経営状況は、コロナ禍などの外部情勢の影響もあり、初めて総収益が110億円と一気に100億の大台を突破しました。独法化直後は、「着の身着のまま」で、資本基盤は極めて脆弱でした。経営健全化を目指し自己資本を毎年徐々に蓄積してきたところ、今回大幅に改善されました。このように経営基盤が安定化したということは、振り返れば大きな節目の1年であったと言えます。資本基盤が安定化すれば、新しい試みに着手できる足がかりができます。今までは旧市民病院の延長線上で量的拡大を目指してきました。これより先は、一段上の市民サービスの提供ができる時期に入りました。

それが何なのか？そもそも、公的医療機関の役割は何か？救急診療、手術など、小規模の民間では対応しにくい急性期医療のレベルを上げていくことが第一の目標です。同時に、地域全体で高齢者の医療・介護を支える地域包括ケアシステムの構築をバックアップする。しばらくはこの二刀流を目指すことになると思います。その場合、近隣の大学病院、民間医療機関とどのように役割分担しつつ、人的、物的に連携、協働できるかが鍵になります。評価委員の方からいただいたアドバイス、「これからは一層『持続できる進み方』』ということ念頭に置いて、より高く、緩やかに発展していただきたい」。肝に銘じて、あせらずに、かつ着実に変身していきたいと思えます。

令和4年12月

新小山市民病院 理事長・病院長 島田和幸



令和3年度決算報告!

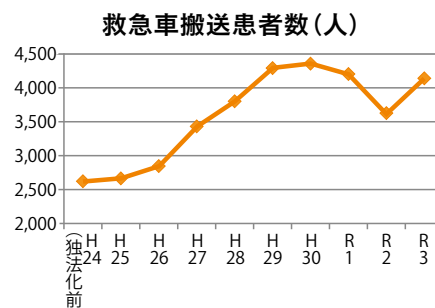
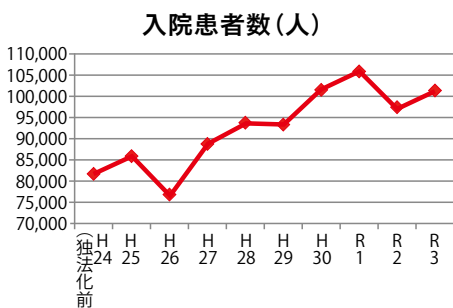
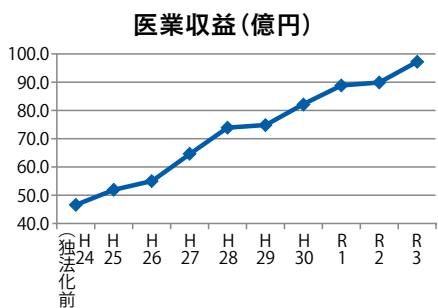


～コロナ診療と一般診療の両立により独法化後9年連続の黒字を確保～

令和3年度はコロナ禍の影響が依然続く中、従来にも増して万全なコロナ対策を講じながら、安定した医療体制の確保と「断らない救急」体制を維持するため職員一丸となって取り組みました。

また、これまでに蓄積した経験や知見を生かしつつ、コロナ診療と一般診療のさらなる両立に努めた結果、前年度大きく落ち込んだ入院患者数や救急車搬送患者数は、ほぼコロナ禍前の水準にまで回復しました。さらに、利用者の皆様からいただいた声を職員間で定期的に共有し、対策を検討、実践することで、利便性や快適性を向上させるための設備面や接遇面での改善にも努めました。これら全職員による不断の取り組みが奏功し、令和3年度**医業収益**は過去最高となる**97億円超**を記録、独法化後9年連続の黒字を確保することができました。もとより、コロナ禍の厳しい環境下にもかかわらず黒字決算を継続できたのは、地域の皆様による物心両面の温かいご支援の賜物であり、職員一同、心より感謝申し上げます。

依然、コロナ収束は見通せない中ですが、地域中核病院として市民の皆様のご期待にお応えできるよう、より一層の医療機能の充実に引き続き努めて参ります。



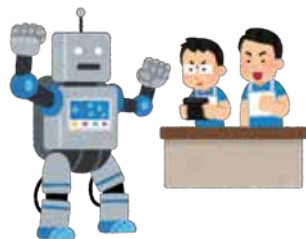
病院で働くロボットの開発を進めています! ～ロボコン日本一 小山高専とのコラボ～



人間とロボットが共存する未来社会を夢見て、病院で働くロボットの小山高専との共同開発をスタートしました。ロボットコンテストで有名な小山高専は小山市の財産です。地域のブランドとして、病院と一緒に小山市独自のものを作りましょうということで始めたプロジェクトです。

病院内でロボットが活躍できる場面は色々と考えられますが、まずは基本として、病院内を安全に動く技術を確認することとし、【搬送用移動ロボット】を第1弾の開発対象として進めています。レストランで物を運んでいるロボットをイメージしてください。

開発プロジェクトの開始から約1年、今回、試作機による病院内走行テストを実施しました。担当してくれた2人は、小山高専5年生の篠原君(左側)と清水君(右側)、昨年度の全国高専ロボットコンテストの優勝ペアです。



ロボットは自分で作成した地図をトレースして動きます。

本稼働の機体は、もっと丈夫でおしゃれなものとなります。

10年後、病院内を沢山のロボットが動き回っているかも知れません。そのための第一歩として、数カ月後には、まずは1台の稼働を目指します。病院内で出会ったときには、温かく見守ってあげてください。

★10周年記念シンポジウム開催!!★

第10回 小山の医療を考えるシンポジウム ～新小山市民病院 地方独立行政法人化10周年記念～

テーマ(予定) (予定)
**「ウイズコロナ時代、
 地域医療を守るために私達ができること」**
**「新小山市民病院
 今までの10年とこれからの10年(仮称)」**
 日時 令和5年3月5日(日) 午後1時(予定)
 会場 小山市立文化センター 小ホール

※開催時間、定員、申し込み方法等について、
 詳細が決まり次第、ホームページ又はポス
 ター、チラシ等でお知らせいたします。
 ※新型コロナウイルス感染症の感染
 状況により、開催内容の変更・中
 止となる場合もございますのでご
 了承ください。



★第9回 ふれあい祭りを 開催しました!★

10月16日(日)、ふれあい祭りを開催しました。
 当院は、来年3月で地方独立行政法人化10周年を
 迎えます。10周年という1つの区切りを記念し、当院
 の行事を楽しみにされている地域の皆様への感謝の気
 持ちも込めて、「ふれあい祭り」を再開することとし
 ました。

室内飲食の禁止等、感染予防対策にも万全を期し、
 皆様のご理解とご協力のもと、無事開催することがで
 きました。たくさんの方にお越しいただき、久しぶり
 に賑わった院内の様子をみて、職員一同、開催できま
 したことを改めて嬉しく感じました。

お越し頂きました皆様、ありがとうございました。



★かかりつけ医をもとう!★

皆さんは身近で頼りになる医師をご存知ですか?
 かかりつけ医は健康に関することをなんでも相談で
 きる上、最新の医療情報を熟知して、必要な時には新
 小山市民病院などの専門医療機関を紹介してくれます。

そんな身近な医療機関を探ることができる「かかり
 つけ医検索システム」を導入しました。検索は、パン
 コンやスマートフォンから当
 院ホームページに簡単にアク
 セスすることができます。

一覧リスト表示や地図表示
 で、すぐに検索することがで
 きます。



★独法化10周年記念樹植樹式★

ふれあい祭り開会式に続き、
 浅野 正富 小山市長をお招きし、
 地方独立行政法人新小山市民病
 院設立10周年記念事業の一環と
 して整備されたあしなりガーデ
 ンにて記念植樹が行われました。



当院の花壇を日頃から慈しんでくださる園芸ボラン
 ティアさん・市民のみなさんの見守る中、浅野小山市
 長・島田病院長により記念樹となる「ヒメシャラ」の
 木が植えられました。数年後、初夏にはかわいい白い
 花をつけることと思います。

あしなりガーデンは、これからも病院に通院される
 患者さん・入院されている患者さんとその方々を支え
 るご家族の癒しになれるよう進化し続けたいです。



令和4年10月・11月着任医師紹介

窪木 大悟

- ①所属
外科 副部長
- ②出身地
千葉県銚子市
- ③趣味
キャンプ
- ④専門分野(疾患)
消化器一般外科
- ⑤ひとこと
地域の皆さんが安心して安全な外科診療を受けられるよう、努力いたします。よろしくお願いいたします。

齊藤 和弘

- ①所属
神経内科 医員
- ②出身地
埼玉県
さいたま市
- ③趣味
ハイキング
- ④専門分野(疾患)
変形疾患、特に緊張直性ジストロフィー(握ったものが離せないとき)
- ⑤ひとこと
よろしくお願いいたします。

樋貝 保弘

- ①所属
整形外科
副部長
- ②出身地
山梨県
- ③趣味
ランニング、サッカー、資産運用、スノーボード、ホームDJ
- ④専門分野(疾患)
外傷、救急
- ⑤ひとこと
自分の得意領域の外傷の他、脊椎、関節領域なども含め、幅広い分野を伸ばしていきます。

年末年始の診療について

12/29(木)～1/3(火)の6日間は、外来診療(救急を除く)をお休みさせていただきます。来院される際には、**必ず事前に**下記電話番号までお問い合わせいただき、受診可能かご確認くださいようお願い申し上げます。(直接来院されても、救急受入状況や患者さんの症状等により、夜間休日急患診療所や他の医療機関をご案内させていただく場合がございます)

救急外来・休日夜間受付 ☎0285-36-0290

まずは夜間休日急患診療所(Tel:0285-39-8880)もしくは在宅当番医(一次救急医療機関)(小山市広報参照)にお問い合わせください。※診察券(お持ちの方)・保険証・医療受給証など(お持ちの方)・紹介状(他の医院、病院からの方)をお持ちになって、ご来院ください。

職員採用のお知らせ

～私たちと一緒に働きませんか～

ご連絡をお待ちしております。

1. 医師

地域医療に興味のある方、そろそろ地元に戻ろうとお考えの方はぜひ一度お問い合わせください。

2. 看護師・介護福祉士

2022年度第4回採用試験(採用日:2023年4月1日)

試験日:2023年2月16日(木)

応募期間:12月5日(月)～2023年2月2日(木)

3. 薬剤師

4. 理学療法士(臨時職員)

5. 診療情報管理士(正職員・臨時職員)

6. 予防医学センター勤務 保健師

7. 予防医学センター勤務(臨時職員)

臨床検査技師・保健師・看護師

8. 看護師(臨時職員)

9. 事務職員【総合職(法務)】

※各職、詳細につきましては下記までお問い合わせ、または、ホームページをご確認ください。

お問い合わせ先 人事課 ☎36-0285

選定療養費改定のお知らせ!

2022年11月1日より、時間外選定療養費を下記の通り改定いたしました。

時間外選定療養費 **6,600円 → 7,700円(税込み)**



2021年12月より時間外選定療養費を導入してまいりましたが、診療報酬改定により初診時の選定療養費が7,700円(税込み)に定められたことから、時間外選定療養費も同額に改定いたしました。

今後も、当院は地域の皆様に、二次救急医療機関として脳卒中・急性心筋梗塞・重症外傷などの重篤な患者さんに安全で質の高い二次救急医療(緊急入院・手術)を提供するため、「かかりつけ医」「夜間休日急患診療所」「一次救急輪番病院」のご利用など、適正な時間外受診にご理解とご協力をお願いいたします。

地方独立行政法人
新小山市市民病院

〒323-0827

栃木県小山市神鳥谷2251番地1

☎0285-36-0200(代表)

↑ <http://hospital-shinoyama.jp/>

看護師採用サイト <http://hospital-shinoyama.jp/nurse/>

📘 <https://www.facebook.com/shin.oyama.city.hospital>

LINE公式アカウント 右記QRコードを読み取ってください。➡

